

学生の皆さんへ

遠隔授業の実施方針と学修環境について

国際社会学部長 村山 賢哉

新型コロナウイルス感染症予防・感染拡大防止のために皆さん気をつけて過ごしていることと思います。4月24日の学長メッセージにもあったように、こうした状況下であっても学びを止めないために、5月7日から遠隔授業による前期授業期間が始まります。

新型コロナウイルス感染症が発生し、3月中旬から教職員によって入学式を含む各種行事・オリエンテーションや授業の持ち方について検討を続けてきました。大学の遠隔授業に対する社会からの注目も高まり、多くの遠隔授業用のツールやサービスがリリースされています。私たち教職員はそれら一つ一つを吟味しながら、本学らしい遠隔授業を模索してきました。

おそらく、皆さんもたくさん情報収集し、どんな最新技術を利用した遠隔授業が行われるのか期待してくれていたかもしれません。私たちも当初、リアルタイム配信型の授業や教室での講義を録画し配信する授業、ビデオ会議でのディスカッションなど様々なツールがあり、それをどのように使うかを検討しました。

しかし、日本中の学生、そして本学の学生の全員が動画配信を中心とした授業を受けられる環境にはないことが明らかになってきました。さらに、こうした動画が大量に増加することが、社会全体の通信環境に大きな負荷をかけるという指摘もなされています。

こうした通信環境に困っている学生をなごりにし、そして社会全体が情報資源を含む資源不足に苦しんでいる今、教育効果が未だ明らかでない遠隔授業方法を採用することは「共に生きる」大学としての責任を果たしていないのではないかと考え、すべての学生に無理を強わず、かつ効果の高い学修の提供という使命を果たせるような遠隔授業の実施方法について幾度となく会議を重ねてきました。

4月15日には授業担当者全員で情報共有会を実施し、非常勤の先生も含め、遠隔授業の実施方法について議論し、すでに学修効果の実績のある Moodle を使用した文字・文書資料などが中心の通信負荷の低い遠隔授業の実施、という方針に決定しました。ただし、本学がこれまで重視してきた「双方向の主体的な学び」が失われることのないよう、これまでよりも多くの機能を使いながら、対面ではないけどアクティブに学ぶ授業を展開していきます。

遠隔授業の実施方針や準備内容をお伝えします。授業開始日まで約2週間となりましたが、よく読んで学修開始に備えてくださいますようお願いいたします。

なお、ここに記すのは概要版となります。詳細な説明は、学生の皆さん宛のメールでお知らせしていますので、必ず確認してください。

【遠隔授業実施方針】

本学の遠隔授業はオンライン学修システムである「Moodle」を中心に実施します。Moodle は資料提示、課題提出だけでなく双方向・履修者同士の学びやテストやアンケートといった進捗確認の機能を備えています。教員からの一方通行ではなく、他者の意見を聞いたり自身の意見を発信したりする学びが展開される予定です。

遠隔授業では一方向・双方向ともにテキストをベースとした学びを中心に実施します。今、テレビ会議型の授業が話題となっていますが、セキュリティ、プライバシー、所持端末や通信量の問題もあります。本学では、こうした問題について慎重に議論し、Moodle を中心とした通信負荷の小さい学びを実施することにしました。

【学修準備・学修環境について】

<受講端末について>

本学の遠隔授業は、スマホ・タブレットでも受講ができるよう設計しています。ただし、パソコンを購入する機会のある人は、パソコンを利用して取り組むことを推奨します。

また、社会状況や時期的にパソコンを準備できない人には、高性能ではありませんが一時貸与する準備を進めています。

<文書などを作成する統合アプリケーション（Office など）について>

本学では新たに Microsoft Office365 Education を導入し、皆さんのそれぞれの端末から Office ソフトを利用できるようにしました

遠隔授業開始当初はこうしたアプリを使用せずに提出できる課題を実施しますが、順次 Word や PowerPoint を使った課題が出てきますので、準備を始めてください。

<通信環境について>

本学では、皆さんの通信量の負荷をできる限り低減させるためにも、テキストベースの遠隔授業を設計しています。しかしながら、通信量が普段より増えることが想定されますので、上限のないインターネット回線+WiFi機器の利用を推奨します。

こうした状況に対し、携帯通信各社も学生向け通信量無償増加を提供していますので確認してください。なお、どうしても準備が難しい人はゼミ担当の先生に相談してください。

【最後に】

学生の皆さんにとって、年度初めはただでさえ不安な時期だと思います。そんな中、突然遠隔授業になり、外出ができず友達とも会えなくなり、毎日不安と焦り、苛立ちといった気持ちを抱えていると思います。アルバイトがなくなってしまった人もいると思います。

そんな状況で、アプリのインストールや環境の確認、準備をお願いすることになってしまいました。もし、何かの準備ができなかったり、通信環境が整備できなかったりする場合は、一人で悩まずにゼミの担当教員に相談してください。英語・国際・情報経営・心理人間文化コースの2年生は基礎ゼミの担当、児童教育コースの2年生は「教育実習事前事後指導（初等）」担当の先生に遠慮なく相談してください。

特に、1年生はすべてが初めてのことで、不安・心配が本当に強いはずですが。そのために基礎演習があります。基礎演習というのは大学での学びに慣れるための科目ですので、遠隔授業になったとしても、基礎演習を通して、そして担当の先生を通して丁寧に準備を進めますので安心してください。

皆さんが大学の見えないところで悩み続け、学びが止まってしまうことを一番心配しています。ゼミの担当の先生に言いづらいことは、各コースのコース長の先生でも、学部長でもよいので遠慮なく相談してください。

それでは、インターネット越しではありますが、5月7日に皆さんと一緒に学びが始められることを心待ちにしています。

以上